

# イチゴ生産者へ第一歩

J A全農岐阜 4人が研修修了



修了をたたえられるイチゴ生産の新規就農者(左)＝岐阜市宇佐南、J A会館

全国農業協同組合連合会  
県本部(J A全農岐阜)が  
運営するいちご新規就農者  
研修所で学んだ第12期生の  
修了式が、岐阜市宇佐南の

J A会館であり、4人がイ  
チゴ生産者として新たなス  
タートを切った。  
県産イチゴの生産は高齢  
化、担い手不足で減少傾向

にあり、J A全農岐阜が2  
008年度から研修所を開  
設して、実践的なイチゴの  
栽培技術や農業経営に関す  
る知識などを、新規就農希  
望者に14カ月にわたって指  
導している。これまでに41  
人が県内でイチゴ生産者と  
なった。

修了式では、西村寿文本  
部長が4人に修了証書を手  
渡し「研修所を巣立った先  
輩たちは今も営農を続けて  
いる。皆さんも誇りを持っ  
て頑張ってほしい」とエー  
ルを送った。加茂郡富加町  
でイチゴの生産を始める落  
安蒼洋さん(33)は「学んだ  
ことを糧に、先輩たちのよ  
うにうれしいと喜んでもら  
えるイチゴを生産していき  
たい」と意気込みを語った。  
(小森孝美)